

株主の皆様へ

第22期報告書

2014年10月1日～2015年9月30日

証券コード：3814

企業理念



アルファクス・フード・システムは、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを経営理念に、私たちが提唱する「食材ロスカット」「人件費ロスカット」を実現させる開発方針のもと、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しています。

社名の「アルファクス」とは、ギリシャ語で、物事の始まりを意味する「 α 」と、限りない可能性を秘めた「X」を結びつけた造語です。ご提案するソリューションの最初から最後まで、責任をもって取り組ませていただくという私たちの姿勢を示すものです。

この社名に、フードサービス業界専門の情報システム企業として、お客様と共に、業界発展のお手伝いをしたいという熱い思いを込めています。



外食チェーン情報システム「ソフト」から「ハード」までの主要3事業

ASPサービス事業

外食企業様に対して、売上分析・経営指標・在庫ロス分析・勤怠シフト管理・受発注・C K物流・財務連動システムまでの各基幹業務システムをご提供しています。

外食企業様の本部系基幹業務の精度を高めるために必要な店舗システム機器である「POSシステム」及び「オーダーエントリーシステム」の自社開発を行なっています。

システム機器事業

周辺サービス事業

外食企業様向け「ワンストップサービス」の一環として、外食関連の広範囲なWEBサービスのご提供や、システム機器などの保守・メンテナンスを行なっています。

アルファクス・フード・システムは、創業以来一貫して、食材／人件費ロス管理を中心とした、経営コストのロスを徹底追求することのできる「基幹業務システム・サービス」の提供を行なっています。

そして、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しております。



経営体制を刷新 営業組織の再構築により利益率が改善、 4期ぶりの黒字化を達成いたしました。

代表取締役社長

田村隆盛

2015年7月「飲食店経営管理システム®」の再販開始で、 中食、給食事業者を含めた“食”産業全体をマーケットとする体制が整いました。

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第22期当社は、上場後から昨年未までの、社内抜擢による営業役員2名、管理役員1名の経営体制を抜本的に改め、新役員を外部から迎えると共に、創業者である私（田村）が一旦、開発、営業も含めて統括をする体制に戻しました。

今期の重点方針とした「原点回帰」を合言葉に、創業時から上場前後にかけての高収益体質に戻すべく、経営陣・コンプライアンスの強化は勿論のこと、現在主力となるASP型基幹業務サービスに加え、更に高粗利の、外食業界専用パッケージソフトウェア「飲食店経営管理システム®」シリーズ製品群の発売を一斉に開始いたしました。

「飲食店経営管理システム®」は、18年前ASPサービスへ経営資源を集中するため、一旦販売を止めておりましたが、このたび、お客様からの強い要望もあり、機能を一部強化して再販を開始したものです。こうした施策等により、特に本格的に販売を再開した7月以降、新規顧客の獲得が順調に進み、第4四半期に限っては、大幅に利益率が向上し、通期でも大幅に目標を上回ることができました。

2015年9月期（第22期）におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景として、円安による輸出関連企業を中心に収益が改善され、雇用・所得環境にも波及し、国内景気は比較的堅調に推移しておりますが、当社の事業領域である外食産業においては、消費増税、円安などの影響から食材の高騰が続いており、依然として厳しい状況が続いております。引き続き、業績責任のための、役員報酬のカットは継続し、あらゆるコストの見直しを実施し、さら

に強固な収益力改善に努めていく所存でございます。

当社主力の「ASPサービス事業」におきましては、サービスレベルの品質を上げ、外食企業様の月額報酬も、緩やかにしながら上昇に転じております。今期も引き続き、販売好調の続くシステム機器の納品先を中心に、主力のASP基幹業務サービス拡大を目指して参りたいと存じます。

また、外食業界を取り巻く環境は、人材不足、食材の高騰など、依然として厳しい状況が続いておりますが、本格的に市場投入した新型「テーブルショット」[FOODα5000]「新型オーダーショット（ハンディショット）」は、この環境の解決に不可欠な比類無い競争力があり、むしろ当社としての販売は拡大傾向にあります。

今後、代理店制度を本格化させると共に、7月に本格的に販売を開始した「飲食店経営管理システム®」Windows版の基幹業務パッケージ製品の市場投入により、市場シェアの更なる拡大を目指してまいります。

当社は、国内で唯一、「店舗情報システム機器」と「本部基幹情報システム」の両方を1社で手掛ける外食専門の情報システム・サービス会社で、ロス削減による最大利益確保とコストパフォーマンスにおきましては、29年以上に亘り高い評価をいただいております。これからも謙虚さと誠実さを忘れず、お客様の声を第一に、外食業界の情報システムインフラになるよう、製品・サービスの向上に努め、株主・投資家の皆様のご期待にお応えしてゆく所存でございます。

今後とも一層のご支援ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

製品

25年前、あっという間に業界ベストセラーとなった「飲食店経営管理システム®」を再リリース
世界初で、外食チェーンシステムの本質を追求した「自動発注システム」を搭載
豊富なオプションシステム群で、“食”産業全体の問題解決に威力を発揮します。

外食基幹業務の国内基準システム

28年前、国内で初めて外食企業のシステム体系を確立。一大ブームに

●豊富なオプションと 適用業種

和洋中のレストラン、居酒屋はもちろん、弁当／仕出業、事業所給食、学校・病院給食など、各“食”企業のあらゆる業態に対応します。

CK・物流センターなどの、製造／加工品ロス追求システムも搭載（物流仕様版）。

トリミング・トレーサビリティ機能も標準搭載。



◆豊富なオプションシリーズも、順次出荷を開始しています◆



**飲食業専用マニュアル
／テンプレート集**
これひとつで飲食業開業のすべてのマニュアル管理テンプレートが揃います



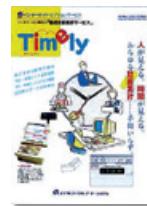
**給食・仕出／弁当業
支援システム**
栄養素と原価／アレルギーを確認しながら楽々献立作成。発注も連動します



**ホテル旅館フード
コントロールシステム**
ホテル特有の用度庫の在庫管理が難しくできます



回転寿司支援システム
100円均一皿のお店でも難しく単品管理ができます

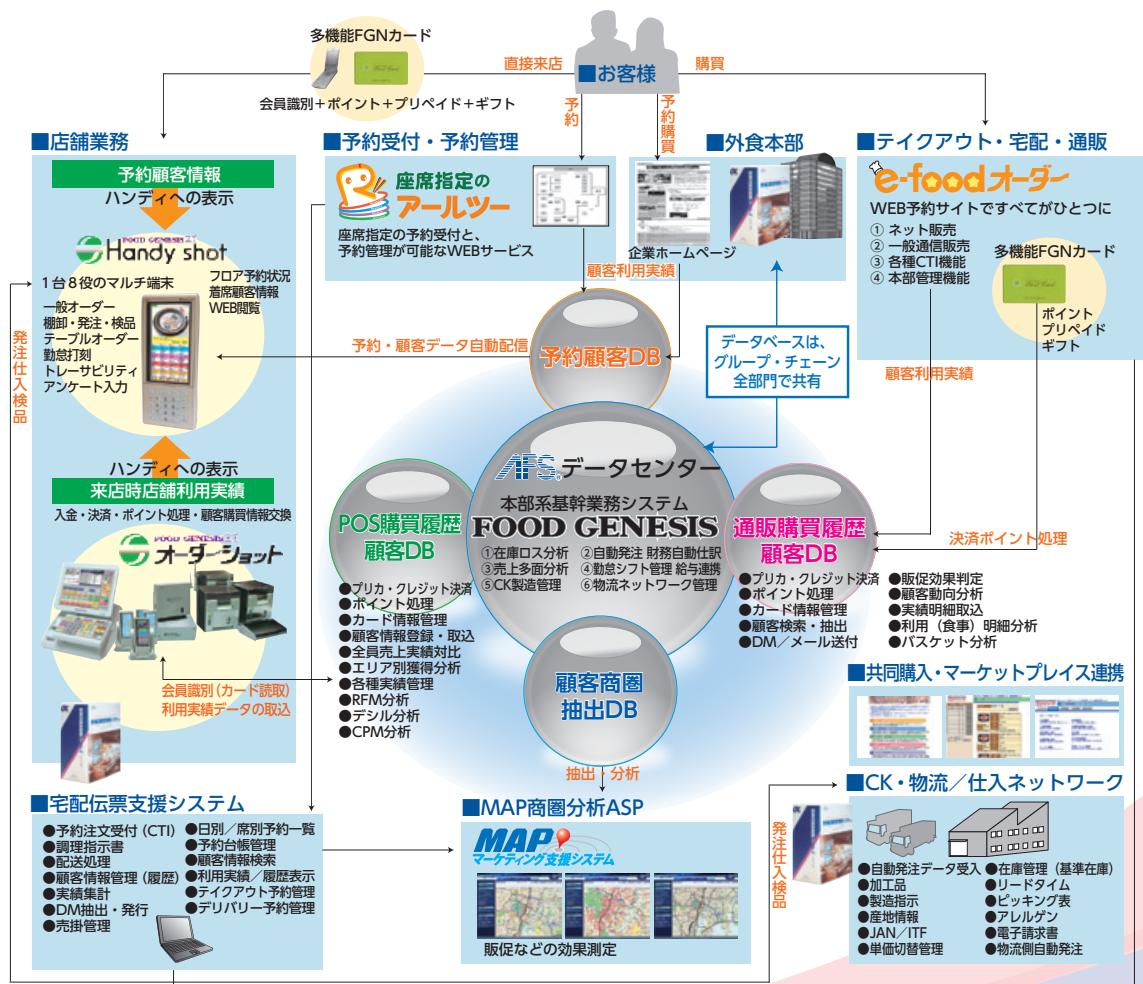


勤怠集計管理システム
国内で最も早く発表し実績抜群のシフトシステムです



**店舗棚卸数量
集計システム**
自動発注の要となるのが正確な棚卸把握。当社のみノウハウ満載端末です

「FOOD GENESIS」は、店舗システム機器から基幹業務／周辺サービスまでを1社で手掛ける **AFS** ならではの、ASP／クラウド型のDB統一元管理サービスです。「飲食店経営管理システム®」が加わり、更にきめ細かいニーズに対応できるようになりました。



事業概要

AFS[®]のASP/クラウド型基幹業務サービスはお陰様で、2014年度 外食チェーン向け統合業務管理システムに於いて、**シェアNO.1***となりました。

*富士キメラ総研 業種別ITソリューション市場2014年版より

大手外食チェーン企業にとって、二大原価（食材／人件費）削減から本来あるべき利益を確保していくことは最重要課題であり、店舗展開を行なう上で、その重要度は更に増してまいります。しかし、これを実現することは極めて困難で、店舗、本部、CK、複数の外部取引先とのシステム完全連動に加え、異業態の混在や、業務サイクル、コンプライアンス、オペレーションの徹底等、様々な課題をクリアしなければなりません。

このような多岐に亘る課題、複雑なシステム構築においてもすべてAFS 1社のみで手掛け、ロス削減による最大利益確保を実現できることが当社の強みであり、他社が追従できない所以です。



事業の概況

経営成績

売上高	9.7%DOWN
第21期	第22期
2,441 百万円	2,204 百万円

営業利益	—%
第21期	第22期
△273 百万円	63 百万円

経常利益	—%
第21期	第22期
△286 百万円	52 百万円

当期純利益	—%
第21期	第22期
△288 百万円	48 百万円

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策を背景に、輸出関連企業を中心に収益の改善がみられ、雇用状況の改善など、回復基調で推移しております。

一方で当社の主要販売先である外食産業におきましては、一部個人消費に明るさが戻るなど、回復傾向が見られるものの、円安による輸入食材価格の高騰、人手不足を背景とした人件費の上昇傾向及び中食市場の拡大などにより、当社の事業領域においては依然として厳しい状況が続いております。

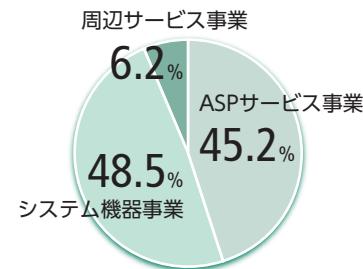
このような環境のもと、当社は、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービスを核とした、トータルソリューションシステムを提供してまいりました。また、期の後半からは、パッケージ型の基幹業務システムである「飲食店経営管理システム®」をリリースし、規模に関係なく、外食のあらゆる業態店舗、または中食である仕出し、弁当業及び給食事業者にご利用いただけるサービスを提供いたしました。

その結果、過去最高の売上水準だった前事業年度には及ばなかったものの、売上高は、2,204,200千円（前事業年度比9.7%減）と堅調に推移しました。利益

面に関しましては、営業利益63,089千円（前事業年度は営業損失273,684千円）、経常利益52,956千円（前事業年度は経常損失286,871千円）、当期純利益48,264千円（前事業年度は当期純損失288,464千円）の増益となりました。

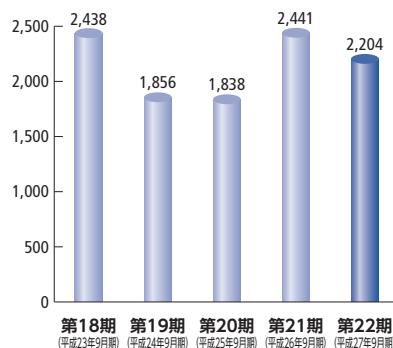
売上高が減少したにもかかわらず、増益という結果が得られたのは、前事業年度の売上構成は、粗利率が低い「テーブルショット」などの商品の売上げが多かったことに対し、当事業年度は、ASPサービスの月額着実な増加に加え、粗利率が高い「飲食店経営管理システム®」の販売が貢献したことによります。

事業別売上高構成比率（第22期）



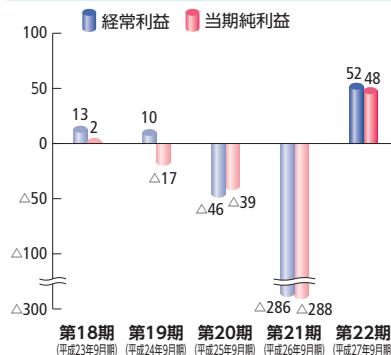
売上高

(単位：百万円)



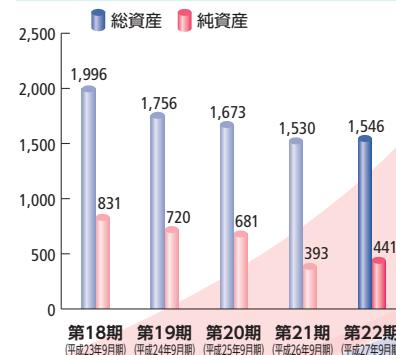
経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

(単位：百万円)



財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度 (平成27年9月30日現在)	前事業年度 (平成26年9月30日現在)	科 目	当事業年度 (平成27年9月30日現在)	前事業年度 (平成26年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	1,021,275	1,025,002	流動負債	996,032	1,067,699
現金及び預金	340,034	487,368	買掛金	176,975	99,994
売掛金	212,377	212,307	短期借入金	611,000	775,500
商品	375,428	261,045	1年内返済予定の長期借入金	50,400	—
貯蔵品	23,168	24,576	1年内償還予定の社債	24,000	54,000
前渡金	15,120	—	未払金	31,820	19,414
前払費用	20,392	21,886	未払費用	9,757	10,452
繰延税金資産	35,451	18,843	未払法人税等	8,353	3,757
未収入金	4,742	2,242	預り金	8,659	9,660
その他	964	465	前受金	52,329	48,375
貸倒引当金	△ 6,403	△ 3,732	賞与引当金	16,251	18,496
固定資産	524,631	504,063	その他	6,484	28,048
有形固定資産	162,661	187,276	固定負債	108,903	69,815
建物	7,660	9,322	社債	21,000	45,000
車両運搬具	—	5,354	長期借入金	66,000	—
工具、器具及び備品	57,192	105,959	退職給付引当金	21,903	19,370
土地	20,429	20,429	その他	—	5,445
建設仮勘定	77,380	46,210	負債合計	1,104,935	1,137,515
無形固定資産	141,513	54,929	純資産の部		
ソフトウェア	81,834	42,874	株主資本	441,398	393,149
ソフトウェア仮勘定	57,234	9,610	資本金	537,862	537,862
電話加入権	2,445	2,445	資本剰余金	143,599	143,599
投資その他の資産	220,455	261,857	利益剰余金	8,223	△ 40,041
出資金	139	142	自己株式	△ 248,286	△ 248,270
長期前払費用	147,722	147,944	評価・換算差額等	67	6
敷金及び保証金	19,326	19,987	その他有価証券評価差額金	67	6
繰延税金資産	22,377	34,903	純資産合計	441,465	393,156
長期未収入金	74,321	77,344	負債純資産合計	1,546,401	1,530,671
その他	10,308	15,060			
貸倒引当金	△ 53,740	△ 33,525			
繰延資産	494	1,605			
社債発行費	494	1,605			
資産合計	1,546,401	1,530,671			

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで)	(平成25年10月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	2,204,200	2,441,689
売上原価	1,511,577	2,109,399
売上総利益	692,622	332,290
販売費及び一般管理費	629,532	605,975
営業利益又は営業損失(△)	63,089	△ 273,684
営業外収益	1,974	525
営業外費用	12,108	13,712
経常利益又は経常損失(△)	52,956	△ 286,871
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	50,836	△ 285,877
法人税、住民税及び事業税	6,645	1,735
法人税等調整額	△ 4,073	851
法人税等合計	2,572	2,586
当期純利益又は当期純損失(△)	48,264	△ 288,464

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成26年10月1日から 平成27年9月30日まで)	(平成25年10月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	94,206	13,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 138,699	△ 71,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 108,841	90,016
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 153,334	31,490
現金及び現金同等物の期首残高	452,868	421,377
現金及び現金同等物の期末残高	299,534	452,868

株主資本等変動計算書

当事業年度(平成26年10月1日から平成27年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	資本剰余金	本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金					
平成26年10月1日 残高	537,862	143,599	143,599	△ 40,041	△ 40,041	△ 248,270	393,149	6	6	393,156	
事業年度中の変動額											
当期純利益				48,264	48,264		48,264			48,264	
自己株式の取得						△ 15	△ 15			△ 15	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								61	61	61	
事業年度中の変動額合計	—	—	—	48,264	48,264	△ 15	48,248	61	61	48,309	
平成27年9月30日 残高	537,862	143,599	143,599	8,223	8,223	△ 248,286	441,398	67	67	441,465	

会社概要・株式の状況

■会社概要 (平成27年9月30日現在)

社名	株式会社アルファクス・フード・システム (ALPHAX FOOD SYSTEM CO., LTD.)
創業	平成5年12月9日
資本金	5億3,786万2,408円
代表者	代表取締役社長 田村隆盛
事業内容	外食企業向け 1.ASP方式による各種インターネット基幹業務サービス 2.システム機器の企画・販売 3.ハードウェア・ソフトウェアの全国メンテナンスサービス 4.Webによる業界専用ポータルサイト (外食総合eマーケットプレイス)の運営・提供
本社	〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地 TEL(0836)39-5151(代表) FAX(0836)39-6448
データセンター	〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目14番30号
従業員数	94名

■役員一覧 (平成27年12月25日現在)

代表取締役社長	田村隆盛
取締役	栃木伸二郎
取締役	片岡久議
常勤監査役	富金原祐輔
監査役	阿部妙子
監査役	後藤登

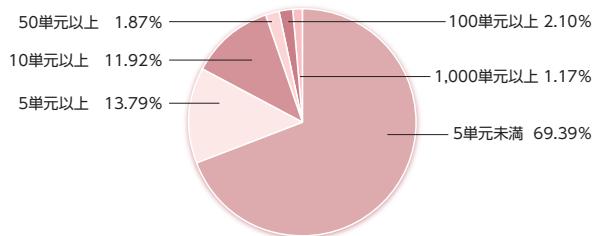
■株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	9,170,400株
発行済株式の総数	2,513,800株
株主数	428名
大株主	

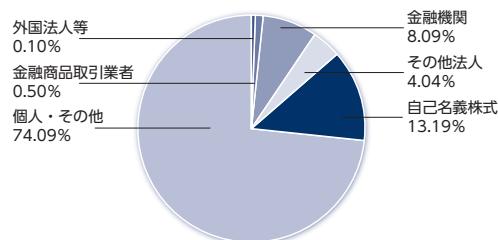
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田村隆盛	1,135,400	52.0
鎌田英哉	450,000	20.6
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	199,700	9.2
株式会社アルゴコミュニケーションズ	38,500	1.8
江藤鉄男	29,300	1.3
田村隆次	16,400	0.8
田村清隆	15,000	0.7
株式会社T B グループ	15,000	0.7
田村由実子	13,500	0.6
株式会社アイベックス	12,500	0.6

- (注) 1. 当社は、平成25年10月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行い、単元株式数を100株とする単元株制度を導入いたしました。
2. 当社は、自己株式を331,583株保有しておりますが、上記大株主からは控除しております。なお、自己株式には、株式給付信託(J-ESOP)の導入に伴い、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式を含んでおりません。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有株式数別株主数比率



■所有者別株式数比率



アルファクス・フード・システムの主要製品

全国の外食産業 7,067[※] 店で活躍しています!

※ASP契約店舗数を含む



FOOD GENESIS 21
Handy shot

複数の店舗業務をカバーするマルチ多機能端末

入力端末となる「ハンディショット」は、1台8役（一般オーダー、棚卸、発注、検品、テーブルオーダー、勤怠打刻、トレーサビリティ、アンケート入力）をこなすマルチ多機能端末です。



FOOD GENESIS 21
オーダーショット

「オーダーショット」は、マルチ多機能端末「ハンディショット」をはじめ、店舗でのオーダー業務に最も重要視される操作性、レスポンス、メンテナンス性という基本性能を従来のもより飛躍的にレベルアップさせ、オーダーエントリーシステムの新時代を切り拓きました。これからも「オーダーショット」は、新しい可能性の追求と共により一層、製品の充実を図ってまいります。

業界初の縦置き横置き兼用で、ファミレスからファーストフードまであらゆる業態に対応!

20年以上に亘るPOSシステムのノウハウが結集した最新型フードビジネス専用PC-POSシステムです。

FOOD & 5000



FOOD GENESIS 21
テーブルショット



人件費を抑え、オーダー効率を上げるフードサービス専用のテーブルオーダーシステム。大手回転寿司からファミリーレストラン、焼肉店、居酒屋など、幅広く導入されています。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	事業年度終了後3カ月以内
上記基準日	9月30日
剰余金の配当基準日	毎年9月30日及び中間配当の支払いを行なう時は3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告により行ないます。 公告掲載URL http://www.afs.co.jp/ (但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行ないます。)

株主の皆様へ当社の各種情報を提供する
ホームページを開設しています。
<http://www.afs.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリース、新製品に関することなど、様々な情報を提供しています。



—— 食文化の発展に情報システムで貢献する ——
株式会社 **アルファクス・フード・システム**
ALPHA.FXS CO., LTD®

〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地
TEL(0836)39-5151(代表) FAX(0836)39-6448



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。